

プレスリリース  
報道関係者各位

2024年3月13日  
休暇村奥大山

**休暇村奥大山では4月24日に「第10回 鏡ヶ成山開き」を開催  
春の妖精「カタクリ」が見頃を迎える擬宝珠山と象山の低山登山で  
奥大山の春を満喫します**

鳥取県の名峰大山（だいせん）の南側、烏ヶ山（からすがせん）の麓にある高原リゾートホテル、休暇村奥大山（支配人 金田 直也）では、『カタクリ』が見ごろを迎える4月24日に「第10回鏡ヶ成（かがみがなる）山開き 春の擬宝珠山（ぎぼしやま）・象山（ぞうやま）登山ツアー」を実施します。カタクリやサンカヨウの群生地に立ち寄り、美しく可憐な山の妖精を鑑賞し奥大山の春を満喫します。



7年もの期間をかけて成長するカタクリは年々数が少なくなってきており、鳥取県では絶滅危惧種にも認定されている希少な花です

◆「第10回鏡ヶ成山開き 春の擬宝珠山・象山登山ツアー」

鳥取県と岡山県の県境にある「擬宝珠山」は、初心者にも登りやすいコースで、地元の登山ガイドがご案内するので、安心してご参加いただけます。

擬宝珠山から象山に向かって歩くと、カタクリが群生する場所が数多くあります。この登山では、春の妖精と呼ばれる“カタクリ”をご覧頂きながらゆったりとしたペースで鏡ヶ成園地周辺の山々をお楽しみ頂きます。

ホテルから徒歩5分で擬宝珠山の登山口に着きます。標高は1,100mですがホテルの場所が標高920mなので、比較的気軽にチャレンジできます。



擬宝珠山の登山口にある鏡ヶ成周辺案内図

**実施日：2024年4月24日（水） 出発9：00 ～ 帰着12：00**

**参加費：無料**

## 《休暇村奥大山 第10回鏡ヶ成（かがみがなる）山開き登山 宿泊プラン》

山開きに併せてご宿泊いただくプランをご用意しました。

実施日：①2024年4月23日（火）～4月24日（水）1泊2日

②2024年4月23日（火）～4月25日（木）2泊3日

料金：①2名1室利用 1泊3食付き 大人1名 19,000円（税込）～

②2名1室利用 2泊5食付き 大人1名 32,000円（税込）～

行程：23日（火）各自チェックイン 17:30～夕食 19:00～登山ツアー説明会

24日（水）7:15～各自朝食 9:00 出発——10:00 擬宝珠山頂上（カタクリ群生地）

——下山——11:00（サンカヨウ群生地）——12:00 休暇村ホテル着

だんご汁お振る舞い —— 昼食（宿泊者のみ）13:00 ホテル出発——

14:00 象山頂上 ——下山——15:00 休暇村ホテル着 17:30～各自夕食

25日（木）7:15～各自朝食 各自チェックアウト

※1泊2日プランの参加者は、下山後に天然水大浴場をご利用いただけます



4月に見頃を迎える「カタクリ」は紫色の可憐な花を咲かせます



擬宝珠山山頂は、円形広場の様で、中央に山頂を示す標柱が立っています



雨にぬれると花びらが透明になるサンカヨウ

## 《休暇村奥大山 鳥取和牛と山菜鍋+ハーフビュッフェ宿泊プラン》

雪解けとともに木々の新芽が芽吹きはじめる季節、この時期に収穫される春の山菜と、肉質日本一に選ばれたこともある「鳥取和牛」をメインにした料理と、小鉢や温物、御飯、デザートなど料理長が腕を振るうハーフビュッフェでお楽しみください。

期日：2024年4月1日（月）～5月31日（金）

料金：平日2名1室利用 1泊2食付

大人1名 13,000円（税込）～



「鳥取和牛」と「山菜」をあっさりスープでお召し上がりいただく鍋をご用意しました

### ◆休暇村奥大山

中国地方の秀峰「大山」の南側、烏ヶ山の麓、標高920mに広がる高原にあり、その地名は「鏡のように平らな地形」から「鏡ヶ成（かがみがなる）」と呼ばれています。広い園地が自慢のリゾートホテルでキャンプ場、スキー場も併設。春の新緑、夏の避暑、秋の紅葉、冬のスキー、また烏ヶ山登山のベースとして四季折々楽しめます。また地下250mから汲みあげる硬度13度の「天然水」も自慢のひとつ。お料理も天然水仕込み、大浴場は別名「天然水浴場」で優しいお湯が疲れた体を癒します。



「天の川」が見え、「流れ星」も見つけやすく、「美しい」星空を持つ鳥取県。休暇村奥大山は美しい星を楽しめるホテルです

所在地：〒689-4424 鳥取県日野郡江府町御机字鏡ヶ成 709-1

支配人：金田 直也

URL：<https://www.qkamura.or.jp/daisen/>

## 自然にときめくリゾート 休暇村

休暇村日本の景色を代表する国立公園等豊かな環境に展開するリゾートホテル。35か所ある休暇村は、「自然にときめくリゾート」のコンセプトのもと、地元の食材を活かした料理や、地域の自然、文化、歴史とのふれあいプログラムなど、その土地ならではの魅力にふれる場を提供し、すべてのお客様に心が自然にときめくひとときをお届けします。



**【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】**

休暇村奥大山 担当：植波（うえは） 克洋／ 東（あずま） 雄太

TEL：0859-75-2300 FAX：0859-75-2310

MAIL：kouho\_pr@qkamura.or.jp